

# 県不動産市況10.4ポイント改善

## 4月時点 地価下落終息近づくとする回答は全体の54.1%

県不動産鑑定士協会と県宅地建物取引業協会がまとめた県不動産市況調査(2011年4月1日時点)によると、半年前と比べた地価動向に対する会員の実感を表すDI指数はマイナス32.3で、前回調査(10年10月1日時点)と比べて10.4ポイント改善した。

前回と比較して横ばい終息に向かっている。前回と比べて、下落が緩やかになったため。前回多いいことを示している調査における予測値は、半年後(11年10月1日時点)の予測値は、(マイナス35.1)より若干上回っており、地価の下落傾向が少しずか

調査は県宅地建物取引業協会の会員233社を対象に実施。地価動向への実感について、27社が「下落」、98社が「やや下落」と回答。これら下がった

とする回答は全体の54.1%で、前回調査より14.9ポイント減少した。一方、「横ばい」と回答したのは10.3社、全体の44.6%で前回より14.1ポイント増だった。「上昇」はゼロ、「やや上昇」は3社だった。土地、新築戸建て住宅、中古住宅、新築マンション、中古マンションの取引件数について

ての各DI指数はいずれもマイナス。中古マンションを除く項目は前回調査より改善している。